

水と緑の森づくり情報誌

みーも通信

特集

寒い季節をほっこり過ごす

木のあたたかみを感じる カフェ・レストラン

47

2016.12月発行
冬号

森TOPI

おしえてみーもくん

森のイベント情報



ワンコインで
しまねの森を
元気にする
水と緑の
森づくり税



「みーもの森づくり事業」をご紹介します。

県民の皆さまからいただいた「水と緑の森づくり税」は、荒廃した森林を整備して、公益的な機能を回復させる「再生の森事業」や、県民自らが企画・立案した森づくりの取組を支援する「みーもの森づくり事業」などに使われています。今回は、「みーもの森づくり事業」の概要や取組事例をご紹介します。

事業の概要

区 分	森を保全する取組	森を利用する取組	森で学ぶ取組 (みーもスクール)
内 容	●森林内での植林、下草刈り、枝落し ●森づくり講座 ●里山や観光地周辺の松枯れ跡地の処理 ●荒廃竹林の伐採 …など	●公共施設、商店街等における、県産材及び木質バイオマスなどの利用 ●木の利用講座 ●竹の利用 …など	●小中学校と連携して実施する授業の中での継続的(3回以上)な森林環境学習
対 象 者	NPO、ボランティア団体、自治会、森林組合、林業事業者、企業、学校、PTA、公民館、その他団体		
交 付 率	原則 1 / 2 以 内		
交 付 金 上 下 限	500～2,000千円 ただし、過去4年以内の事業を継続実施する場合は、25～50千円/1箇所	200～1,600千円 ただし、400千円/校まで	
申 請 方 法	①募集期間中(3月～4月頃)に、事業提案書を下記の窓口へ提出 ②水と緑の森づくり会議において審査され、6月中に採択結果を通知 ③交付申請書類を窓口へ提出し、交付決定を待ってから事業着手 ※支援を希望される方は、お早めにお近くの窓口へご相談ください。		

ご相談・書類提出窓口

お住まいの地域の窓口	松江・安来	島根県東部農林振興センター	TEL0852-32-5665
	雲南・奥出雲	雲南事務所	TEL0854-42-9562
	出雲	出雲事務所	TEL0853-30-5579
	浜田・江津	島根県西部農林振興センター	TEL0855-29-5627
	大田・邑智	県央事務所	TEL0855-72-9563
	益田・鹿足	益田事務所	TEL0856-31-9583
	隠岐	隠岐支庁農林局	TEL08512-2-9648

1 自分たちの住む地域は自分たちで守る“外園海岸防風保安林整備事業”

【保全】外園海岸整備推進協議会

出雲市外園地区の海岸侵食や防風保安林の問題など、生活環境改善のために活動する「外園海岸整備推進協議会」。同地区の9町内約400世帯に暮らす約1000人の住民が会員となりおこなう森づくり活動の一環である「外園海岸の防風保安林の再生保護活動」について紹介します。同協議会では、専門家に指導を仰ぎ樹種の選定から始め、土壌作りから勉強し、どのように育てれば木が大きく育つか、根本の部分から学んで実施しています。定期的な植林活動では、毎回地域の保育園や小学校へ声かけをして、一緒に植林活動をおこなっています。その理由を会長の石飛裕司さんは、「子どもたちには、この地区は将来自分たちが守るべきものだということを、今からわかってほしいです。そのために、小さな頃から木に触れて活動について知ってもらい、その子たちにも次の世代へつないでいてもらいたいですね。」と話されます。今後は県と地域とでタイアップをし、100年先も良い森にするため、官民での協力関係を継続したいとのこと。



2 地域の資源を再利用“間伐材の保育所東屋づくり”

【利用】農業法人 加茂遊学ファーム

地域の農業・農業者の支援組織として、平成10年に発足した雲南市加茂町の農業法人「加茂遊学ファーム」。同団体が手がける、「たちばら保育園広場への東屋設置事業」について紹介します。山に放置されていた間伐材を地域の人のために活かしたいとの想いから始まった同活動は、親子が集える東屋を建設することで交流や学びの場を提供することを目的としています。使用する木材は会員の私有地のものを無償で提供し、間伐材の切り出しや搬出、皮はぎ作業は会員自らの手でおこないますが、製材加工や大工作業は安全性を考慮し専門家へ委託。その過程で、徐々に東屋が出来上がっていく様子を見ていた園児たちの完成を待ち望む表情が作業の糧になったそうです。今後について代表の土江暁一さんは、「これからも間伐材を使って、小さな世代へ木や山の価値を伝えていきたい。」と話されます。地域で出た間伐材を放置せず、その地域で循環利用する地産地消の取組が継続されていました。





1 自家焙煎珈琲 Café Kubél 松江

閑静な住宅街の高台にある隠れ家的カフェです。店内は、店主自身の手で割った薪をくべる薪ストーブや、県産木材を使ったカウンターやテーブル、イスなど、温かみを感じられるアイテムが多数。街中の喧騒から離れ、ゆっくりとした時間を過ごしてみたいかでしょうか。



店舗
データ

住所：松江市東奥谷町71-1
Tel: 0852-27-4402
営業時間：10:00～18:00 定休日：月曜

3 風のえんがわ 江津



店舗
データ

住所：江津市後地町2398
Tel: 0855-57-0522
営業時間：10:30～17:00 定休日：日・月曜

石畳の小道を抜けると見えてくる、古民家を改装したカフェです。むき出しの梁からは、時の流れと共に木の温もりを感じられ、薪ストーブの暖かさと相まって、ほっこりとした気持ちになります。外の木には大人もワクワクするツリーハウスがあり、親子で楽しむこともできます。



4 レストラン ボンヌママン ノブ 益田

白を基調とした外観と鮮やかな青い屋根から、地中海の建物を思わせる本格派のフレンチレストランです。店内からは日本海が一望でき、レストランウェディングにも利用できます。店内には暖炉があるので、その火に癒されながら、カジュアルな雰囲気や絶品フレンチを味わってみませんか。



店舗
データ

住所：益田市高津町持石口485-18
Tel: 0856-23-2060 定休日：火曜
営業時間：11:30～13:30/18:00～22:00 (L.O.19:30)

寒い季節をほっこり過ごす 木のあたたかみを感じる カフェ・レストラン

寒さが日に日に厳しくなる季節。そんなときでもあたたかく過ごせるカフェ・レストランを紹介します。木の温もりに触れ、心をほっこりさせに出かけてみませんか？



2 Cafe restaurant CRAFT 安来



店舗
データ

住所：安来市伯太町東里1193
Tel: 0854-37-1123 定休日：木曜
営業時間：11:30～21:00 (L.O.20:30)

子どもが遊べるキッズランや木工教室（要予約）があり、家族で楽しめるカフェです。店内のテーブルやイス、棚、キッチンに至るまで、家具は全て隣接する木工工場の手作り。キッズランには滑り台などの木の遊具もあり、店内外で木の温かみに触れます。



5 ピッツェリア・ドメニカーナ・オカダ 吉賀



店舗
データ

住所：鹿足郡吉賀町蔵木1081
Tel: 0856-77-0568 定休日：水・木曜
営業時間：平日11:00～14:00/
土日祝11:00～16:00 (売切れ次第終了)

吉賀町の自然に囲まれた中で、本場イタリアの味が楽しめるピッツェリアです。店はログハウスで、その外観はまるで海外に来たかのような気持ちにさせられます。家具も含め、木がふんだんに使われた店内は冬でも暖かく、冬の寒さを気にすることなく食事が楽しめます。



しまねの森林のヒーロー



森林インストラクター
樹木医・松保護士
あさうら とおる
浅浦 徹さん



参加者と一緒に
ミニゲームをしている
浅浦さん。



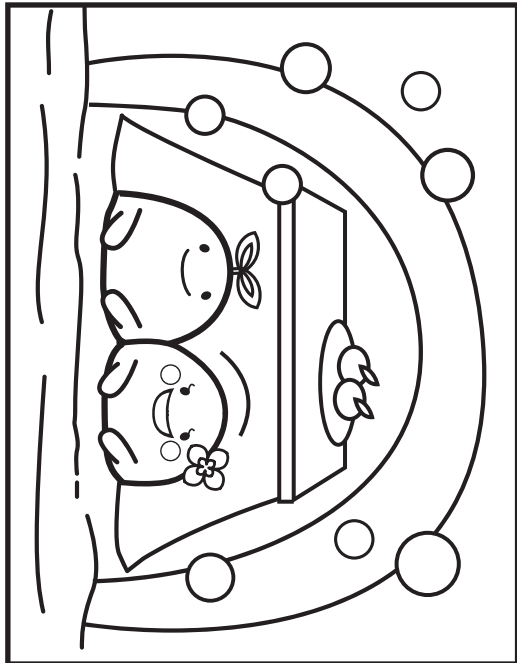
丸太切り
競争中の様子。

教えるのではなく一緒に遊ぶ！森に親しむ活動で森を身近なものに

森林インストラクターとして子どもたちに木に触れる機会をつくり、森に親しみを持ってもらおうと活動する浅浦徹さんに、活動内容や今後についてお話をお聞きしました。

仕事(造園)の幅を広げようと樹木医の資格を取ったことがきっかけで、その活動の中で知った森林インストラクター制度に興味を持ち、5年前に島根県、3年前には全国版の資格を取りました。仕事柄、長年自然や植物と身近に接してきたわけですが、森林インストラクターになると、同じ活動をしている団体や人々の横の繋がりが生まれるのが良いですね。そんな繋がりがから関わるようになったみーもスクールですが、教えるというより、子どもたちと一緒に遊びながら、森に親しんでもらう活動を心がけています。具体的には、子どもたちがノコギリを手に間伐を体験したり、薪でピザを焼いたり。今は住宅もクロス貼りが多く、子どもたちが木に触れる機会が少ない。輪切りにした木を喜んで持ち帰る姿を見てみると、もっと木に触れさせてあげたいと思いますね。そういう意味では、樹木医を始めた頃から関わっている、『旭小学校 緑の少年団』による「つなごう桜プロジェクト」が、森林インストラクターの活動に大いに役立っています。このプロジェクトは、廃校となる小学校の校庭にあった地域のシンボル桜を新しい学校に継承しようというのですが、この取り組みへの支援が認められ、「平成28年度緑の少年団育成功労賞」を受賞することができました。こういう地道な活動を評価していただく今後の大きな励みになります。こうした森林インストラクターの活動ですが、これからはもっと時間が割けそうなので、自分の企画した取り組みなどを発信していけたらと思っています。

※旧今市小学校(浜田市旭町)にあった地域のシンボル「市子桜」を統合して誕生した旭小学校の校庭へ移植するため、樹木医・浅浦さんをアドバイザーにした『旭小学校 緑の少年団』による植樹活動。この取り組みが高く評価されて、緑の少年団は平成28年度「国土緑化推進機構理事長賞」を受賞。この活動を支援した浅浦さんも「緑の少年団育成功労賞」を受賞。



みーもくん・みーなちゃんのぬりえ

5. 「水と緑の森づくり税・みーも通信」についてご意見をお聞かせ下さい。

答え:



3. 特集で取り上げてほしいテーマがありますか。

4. 水森クイズ

Q. 数えると木の年がわかる、切り株などに見られるぐるぐる模様を何というでしょう。

PO6をよく読むとわかるよ。

おしえて みーもくん

Q. クマやヘビのように、木も冬眠するの？

A. 寒い冬の間に、木はあまり活動せず休んでいるんだよ。なぜわかるかと言うと、木の切り口にあるぐるぐる模様(年輪)に秘密があるんだ。木は、細胞という小さなまとを作りながら、毎年少しずつたく成長しているんだけど、あたにかい春には大きくてうすい細胞がたくさん作られ、夏から秋にかけては小さくて厚い細胞が作られる。そして、冬の間は成長が止まってしまう。だから木の切り口は、うすい色(春)とこい色(夏～秋)が順番に層になってぐるぐるに見えるんだ。この層を数えれば、木が何才なのか知ることができるよ。だから、1年中暑い国では、ぐるぐる模様のない木もあるんだ。

